

【採過拾新録】 総目次

通号	年 月	編著者	標 題	連載回数等
08号、	95-10	(編集部)	大客殿解体の真相	
12号、	96-02	幸田露伴	「高祖御降誕日につきて」・『蓮のかおり』	明治34年
23号、	97-01	山上弘道	「続日興上人御本尊調査記録」(2)～(9)	・50号(10)
28号、	97-06	幸田露伴	「私の日蓮観」・露伴全集より	
30号、	97-08	(編集部)	新発見の御真蹟・その他	
49号、	99-03	横山公男	『痛哭の極み』	(設計者による正本堂解体への抗議)
51号、	99-05	日宣上人講本	「鶴丸・亀甲・松竹梅のこと」	①～③
60号、	00-02	大黒喜道	「日興門流上代事典」について	

- 62号、00-04 渡邊信朝「宮崎県題目石塔調査記録」(1)～(7)
- 63号、00-05 「本願寺のこと」・(日本庶民生活集成「浮世の有様」より)
- 63号、00-05 児玉光瑞 第3回妙本寺典籍調査随行記(平成13年)
- 74号、01-04 松本佐蔵「懐旧譚」①～⑤
- 88号、02-06 吉田茂 「序文」・水田二輔「文豪 日蓮上人」より
- 88号、02-06 石橋湛山「一末輩門下の願い」・(雑誌「富士の國」より)
- 92号、02-10 夏目漱石・松岡譲「漱石山房の一夜_宗教問答」(現代仏教昭和8年1月)
- 096号、03-02 杉田大 「生生流転」(上野駐在警官)副題「八方破れの人生」_昭和61年
- 098号、03-04 (編集部) 【資料紹介】日重本「録内御書写本」
- 098号、03-04 坂井法擘 七百年ぶりに一つになった御書_「越州嫡男并妻尼事」と「土木殿御返事」_
- 099号、03-05 (編集部) 【資料紹介】最古の大石寺図日賢師筆「大石寺東坊地相続図」
- 101号、03-07 佐藤博信 (千葉大教授)「東京・国立博物館『大日蓮展』に思う」
- 104号、03-10 正岡子規 「養痾雑記」_『日蓮』子規子(明治28年9月18日新聞「日本」)
- 108号、04-02 大隈重信 「序文」・本山荻舟(てきしゅう)「日蓮」より

- 112号、04-06 日蓮上人の激戦（碁譜）吉祥丸(日朗)の奮闘・「旧幕府御秘蔵碁戦」より
- 114号、04-08 清野富美子「系譜」・清野謙次先生記念論文集「随筆・遺稿」より
- 116号、04-10 熊田葦城 「受難の日蓮」(1)～(4)・(昭和6年1月「日曜報知」より)
- 127号、05-09 日昇上人 「み魂を迎えて」(全国放送法話昭22年8月31日)(宗報13号)
- 133号、06-03 石川九楊（書家）「日蓮」・著書「書と文字は面白い」より
- 136号、06-06 佐藤隆房 「終焉」(抜粋)・著書「宮澤賢治」より
- 139号、06-09 榊莫山 （書家）「日蓮」・著書「大和慕情」より
- 140号、06-10 波多野承五郎「富士山麓の日蓮本門」・「随筆・東海道」(昭和萬里閣書房)
- 141号、06-11 武者小路実篤「日蓮と千日尼」(1)～(2)・著書「日本の偉れた人々」より
- 144号、07-02 鈴木史楼 「百人一首-日本の書と中国の書」より
- 145号、07-03 三木喬太郎「最古の碁譜」・著書「碁の話」より 昭和4年 誠文堂発行
- 146号、07-04 野木治郎「新興宗教懺悔録」著書「狩野川物語」(妨害による幻の書)
- 148号、07-06 荒木清勇「立正安国論に就いて」(1)～(2)・「法華」大正6年8月刊より
- 155号、08-01 日蓮大聖人・日興上人 御詠歌◇大聖人御詠七首◇日興上人御詠七首
- 158号、08-04 荒木清勇「聖書の拝読に就いて」(1)～(4)・大正7年6月刊「法華」より

- 169号、09-03 佐藤博信「興風」と「日蓮仏教研究」新たな日蓮・日蓮宗研究-
- 170号、09-04 三島由紀夫「日蓮のこと、立正安国論のことなど」・三島由紀夫全集 26」
- 171号、09-05 高村光太郎「序」・江南文三「日本語の法華経」より、
- 172号、09-06 辻善之助「日蓮の元寇予言について」(上)「日本文化史 別録二」より
- 174号、09-08 辻善之助「日蓮の元寇予言について」(下)大正11年1月「歴史地理」
- 176号、09-10 江南文三「日本語の法華経」解説より(上)古田 拡(昭和43年8月)
- 177号、09-11 江南文三「日本語の法華経」解説より(下)古田 拡(昭和43年8月)
- 179号、10-01 荒木清勇「承久書の真偽如何」:大正6年9月刊「法華」より
- 181号、10-03 広瀬秀雄「年・月・日の天文学」(中央公論社)より
- 182号、10-04 齊藤国治「星の古記録」「5 光り物一流星と隕石」より
- 183号、10-05 小口偉一「宗教と信仰の心理学」第1部 宗教体験とその分析 河出書房
1956年7月「新心理学講座4」第1章 VI 創価学会／池田大作(入信動機)
- 187号、10-08 斎藤国治「天変記事のある無年号文書」古天文学の一応用例(上)(下)
「日本歴史」1984年8月号「研究余録」より
- 189号、10-10 松本清張 日蓮再発見・(図録「日蓮聖人展」序文より)昭和44年5月刊

- 190号、10-11 矢内原忠雄「日蓮」(1)～(6)「世の尊敬する人物」昭和15年 岩波書店刊
- 201号、11-10 早川雪洲(映画俳優)「法難と私」
- 204号、12-01 矢内原忠雄「余の尊敬する人物」より「日蓮」(7) 昭和15年 岩波書店刊
- 205号、12-02 露伴道人(幸田露伴)「寿量讚」・「白蓮華」(明治41年7月号)より
- 212号、12-09 吉田昌郎(福島原発所長)「現場の作業員は地涌の菩薩」・(毎日新聞
電子版 2012年8月11日より)
- 214号、12-11 熊田葦城「受難の日蓮」(四回分載)日曜報知 第33号(昭6年1月)
- 225号、13-10 広瀬秀雄(元東京天文台長)日蓮上人「竜の口の法難」の時の天変について
・「天文と気象」昭和29年6月号所収
- 226号、13-11 塩田義遜「富士五山めぐり」(1)～(4)「身延教報」(学生の大石寺参拝)
- 233号、14-06 小笠原義道 昭和5年の「日蓮正宗の現勢」『宇宙』日蓮各派大観号
- 235号、14-08 清水梁山「宗祖本仏論」・「日宗新報」852号 明治36年6月9日
- 236号、14-09 高山樗牛「日蓮上人とはいかなる人ぞ」(日蓮上人と上行菩薩)(上)
(中) (下)
- 243号、15-04 堀 慈琳(日亨)「宗門古典取扱方諮問録」(略抄)

- 248号、15-09 内村鑑三「代表的日本人」(1)～(4)・内村美代子・新木(内村)桂子 訳)
- 256号、16-05 下山順一郎「薬学 昔むかし」関連二編 ・(「ファルマシア」vol.46 No.7・8)
- 258号、16-07 内村鑑三「代表的日本人」(内村美代子・新木(内村)桂子 訳)
- 260号、16-09 大石寺 39世 日純上人著「受容御酒論」
- 261号、16-10 和辻哲郎「法華経の考察」(1)(2) ・著書「仏教哲学読本 2」より)
- 267号、17-04 矢場勝幸/二村博「俳人恒丸、源立寺の自楽翁を来訪」 ・著書「鴛鴦俳人恒丸と素月」抜萃
- 271号、17-08 【新資料紹介】「精師 ・ 舜師 矛盾書付」・知られざる大石寺相承の争訟
- 272号、17-09 倉田百三 「学生と先哲」(1)～(4)角川文庫「青春をいかに生きるか」り
- 274号、17-11 新村 出 「童心録」(抜萃)(靖文社 昭和 21 年刊)
- 277号、18-02 丸山照雄 石橋湛山の功績「認識の仏教」(水書坊刊)
- 282号、18-07 高木 豊 「堀日亨上人のことなど」(抜萃)『Since 1928 歩いた道 書いた道』(地人館 刊)より
- 283号、18-08 高山樗牛「日蓮と基督」 「高山樗牛と日蓮上人」(大正 2 年 博文館)
- 284号、18-09 高山樗牛「日蓮上人と日本国」-日蓮上人の真面目を見よ-(1)(2)「高山樗

牛と日蓮上人」(大正 2 年 博文館刊より)

286 号、18-11 「戦後の上野村の実勢」石川さつき「村八分の記少女と真実」(昭和 28

292 号、19-05 童子教 ◆「童子教」と引用御書の紹介

294 号、19-07 芳野金陵「東帰念日記」(大石寺参詣記抜粋)

295 号、19-08 田山方南 新指定の重要文化財「日蓮上人自筆書状」(越佐研究第 $\frac{5}{1}$)

302 号、20-03 細野要斎 儒者が見た尾張法華講衆(名古屋叢書「諸家雑談」文久 2 年)

303 号、20-04 中村仲蔵 「初代仲村仲蔵の信仰」(三代目仲蔵「手前味噌」より)

305 号、20-06 富士本智境「源立寺再建縁起」 源立寺所蔵文書「当山由来」より

307 号、20-08 秋山ちえ子「戸田城聖氏大奮戦」 お勝手口からごめんなさい(昭和 $\frac{0}{3}$ 年

春陽堂 刊)より

315 号、21-04 高橋竹迷「鎌倉と日蓮」「大石寺の辻説法」・著書「山水と人物」(大正 2

年 $\frac{0}{1}$ 月刊)より

- 317号 21-06 (編集部) 荒木清勇伝「忘れられた総講頭」補遺」①
- 318号、21-07 高山樗牛「予の好める人物」・「高山樗牛と日蓮上人」(大正2年6月刊)
- 319号、21-08 高山樗牛「鎌倉時代の人傑」・「高山樗牛と日蓮上人」(大正2年6月刊)
- 321号、21-10 上原専禄「日蓮遺文をどう読むか」日本古典文学大系月報(昭⁹/₃年4月)
- 322号、21-11 大森金五郎「日蓮聖人の遺文録を読みて」(1~4)「随感随録史伝史話
続編」(大正14年9月刊)
- 330号、21-12 森鷗外「日蓮聖人辻説法」(戯曲)
- 332号、22-09 幸田露伴「信仰と我執」(岩波書店・露伴全集 別巻上)
- 334号、22-11 日淳上人「転禍来福」(日淳上人全集より)
- 334号、22-11 特高月報「昭和18年9月分」(日蓮正宗僧侶藤本蓮城師不敬事件)